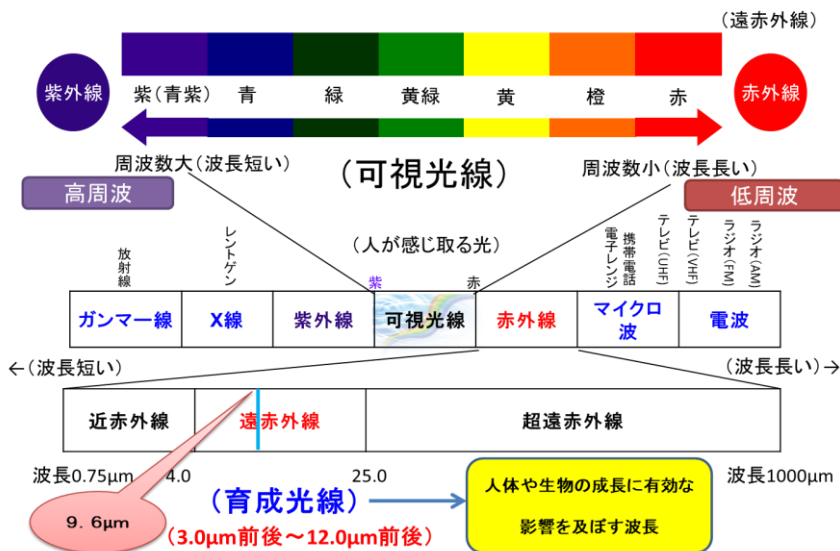
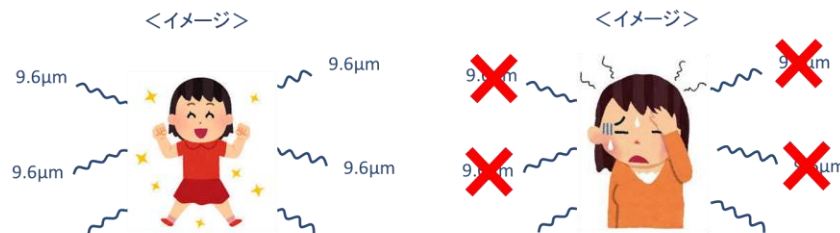


電磁波と健康について (1)

電磁波の種類



正常な生体の波長を維持することが健康につながる



健康な人間は9.6μmの波長(電磁波)を発散

不健康な人間は9.6μmの波長が出ていない

体温36.5℃

体温36℃以下



現代の生活環境は生体波長を乱す要素がいっぱい



昔の生活環境は生体波長を乱すことが少ない

昔の日本家屋は遠赤外線を発する材料で造られていた



電磁波と健康について (2)

携帯電話基地局とガン死亡患者との関係

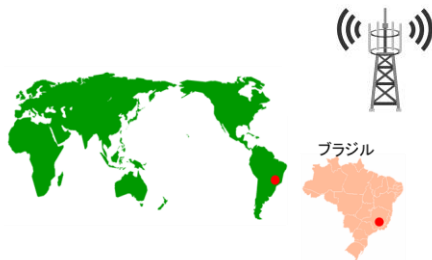
ガン死亡者数
7191人
の距離別分布

1996～2006年

ブラジル
ベロオリゾンテ市

対象基地局数
856基

ミナス・メソジスト大学
ドーデ教授による調査



距離 項目	100m 以内	100m ～200 m	200m ～300 m	300m ～400 m	400m ～500 m	500m ～600 m	600m ～700 m	700m ～800 m	800m ～900 m	900 ～1000 m	1000m 以上
死亡 数	3569	1408	973	482	292	145	78	42	11	44	147
割合 (%)	49.6	19.6	13.5	6.7	4.1	2.0	1.1	0.6	0.2	0.6	2.0

【電磁波から身を守る方法】

1. 携帯電話は身体から出来るだけ離す

- ポケット・胸ポケットに入れない
- イヤホンを使用する
- 電磁波遮断ケースや電磁波ブロッカーを使用する

2. 自宅のワイヤレスデバイスを削除する

- wi-fi / コードレス電話 / ワイヤレスベビーモニターを使用しない
- wi-fiを有線に切替
- Bluetoothのヘッドホンやイヤホンは使用しない
- 音楽・映画はダウンロードして見る

3. 寝室での対策

- 寝室から電子器具、できれば携帯電話を置かない
- 携帯電話を目覚まし時計に使用しないか、ベッドから遠ざける
- ベッドに近いコンセントに電磁ブロッカーを設置する
- wi-fi をオフ、できれば機内モードへ

4. グラウンディング

- ※グラウンディングとは芝生・土・コンクリート・砂を裸足で踏む事
- 体内に溜まった電磁波を放出する
 - 地球自体が発している健康的な"自然な電磁波"を取り入れる
 - 自然な電磁波は身体に馴染み、ストレスの軽減、体内生理学の休息と修復をも促すのである。

5Gの人体へ繋がる大きなデメリット

■ 肌の影響

60GHzのパルスマイクロ波は送信電力の90%が、皮膚の表皮および真皮層に吸収される=日焼けと同じ損傷。

つまり、日焼け止めが効かない状態で日光を浴びている状況と同じ事になり、皮膚の痛みを感じたり、皮膚疾患や皮膚がんの影響に繋がる。

■ 目への影響

1994年の研究でパルスマイクロ波は、ラットの水晶体の混濁を引き起こした→白内障の発生に関連することが明らかに。

■ 身体への影響

「心臓」「免疫系」「癌」への影響が発見されている。

5Gは4Gと比べ生物学的にアクティブになり、遥かに人体的に危険である可能性が上がる。

あまり公式に発表されていないが、下記の健康懸念で5G使用を拒否・停止した国が既にあるほどだ。

- ・ ベルギー
- ・ イタリア
- ・ スイス
- ・ アメリカ (カリフォルニア州など一部の州)

このように規制している国があるにも関わらず、残念ながら日本の規制はゆるゆるである。

人体に及ぶ影響

1. 成長細胞に悪影響
2. 発がん性作用
3. 癌細胞の成長促進
4. 免疫機能の低下
5. 生理リズム阻害
6. 学習能力の低下
7. 異常行動
8. 自殺
9. 神経ホルモンの変化
10. 胎児の異常発育 (催奇形性)

